

省エネルギー対策工事に係る（変更）計画書

年 月 日

1 対象建物概要

Table with 2 columns: Field Name (e.g., マンション名称, マンション所在地, 管理組合) and Description.

要件となる省エネルギー対策工事1から4までのいずれかに該当すること

該当する工事や改修部位が複数ある場合は、代表工事（改修部位）の一つについて記載してください。

1. 断熱改修工事(省エネ基準(仕様基準))

Table for thermal insulation renovation work. Header: <熱抵抗値> 又は <熱伝導率(又は商品名)及び厚さ> を記入してください. Columns: 熱抵抗値 (W/m²·K), 熱伝導率 (W/m·K) 又は 商品名, 厚さ (mm), 備考.

2. 断熱改修工事(断熱材使用量基準)

Table for thermal insulation renovation work based on usage standards. Header: 次の熱伝導率に応じた使用量の基準を選択してください. Columns: 部位, 断熱材の最低使用量(単位:立方メートル), 熱伝導率(単位:1メートル1度につきワット)の区分, 備考.

※最低使用量は住戸あたりの使用量で判断します。複数住戸を対象とする場合は、基準を満たす住戸についてのみ記載することで差し支えありません。

3. 開口部断熱工事(省エネ基準(仕様基準))

Table for opening part thermal insulation work. Header: 工事内容を選択し、熱貫流率、商品名又は部材を記入してください. Columns: Description, 備考.

4. 省エネルギー設備設置工事

Table for energy-saving equipment installation work. Header: 設置する設備を選択してください. Columns: Equipment Name, 備考.

【留意事項】

- ・ 選択した部位以外については記載不要です。
・ 1の工事は、各部位の一部でも対象となります。
・ 国等の補助事業において使用されている型番により性能値を示す場合には、「備考」欄に当該型番を記入してください。
なお、1で厚さの情報が登録されていない型番の場合は、併せて断熱材の厚さ（ミリメートル）を、2の場合は断熱材の使用量（立法メートル）を記入してください。
（国等の補助事業の例：こどもみらい住宅支援事業、住宅エコリフォーム推進事業）
・ 1による場合で、熱貫流率により基準を確認する場合には、「備考」欄に性能値を記入してください。